

今回は当財団で実施した、物流の「2024年問題」をテーマとした調査についてお知らせします。

ご承知のように、トラックドライバーの労働環境を改善するために、今年4月より年間の時間外労働に制限が設けられました。

これにより、物流の停滞や更なるトラックドライバー不足が懸念されています。

当調査では、輸送業界大手「西濃運輸」及びトラック・バスメーカー「いすゞ自動車」の2社に取材協力いただきました。

その内容・各種データなどをもとに、当問題への対応のポイントとなる「輸送方法の多様化、効率化」、「ドライバーの確保（業務負荷の軽減など）」に関する現状や今後の課題を深掘りしています。

巷間、当問題解決の切り札的に取り上げられる「モーダルシフト」や「ダブル連結トラック」は、実務を行う上で制約や課題があり、“即効性”という点で大きな期待はできそうにありません。

果たして、“経済の血液”とも言われ、社会経済活動の重要な役割を担う物流を今後も維持していくには、何が必要なのでしょうか。

当調査報告の詳細は動画化の上、当財団動画学習サイト「早わかり！クルマ塾」内の「最新のクルマ・交通情報」コーナーに掲載します。

現在編集作業中で、間もなく公開予定です。

【「最新のクルマ・交通情報」コーナーURLはこちら↓】

<https://jaef.or.jp/6-kurumajuku/johokan/latest-news/index.htm>

---

日本自動車教育振興財団 メルマガ事務局

【読者の皆さまへ】

私どもは、先生方や高校生の皆さんにより有益なご支援を提供してまいりたいと考えております。

つきましては、当財団の事業やご支援メニューについて、ご意見やご要望等をお寄せください（以下のいずれかの方法にてお願いします）。

1. 当メルマガに返信

2. SNSでのコメント、返信

X（旧 ツイッター） <https://twitter.com/jidousyakyokuiku>

フェイスブック <https://www.facebook.com/jaef2019/>